



# 川と災害

名前

1 川と災害について、あてはまる言葉を〔 〕の中から選んで○で囲みましょう。また、( ) にあてはまる言葉を書きましょう。



教科書

116~120 ページ

台風などで大雨がふったり、梅雨のように雨がふり続いたりすると、川の水の量はふだんよりもずっと ①〔 増える・減る 〕。すると流れが ②〔 速く・ゆるやかに 〕なり、大きな力で土地を ③( ) し、災害を起こすことがある。

やがて水の量が減ると、流れは ④〔 速く・ゆるやかに 〕なり、運ばんされてきた土や石などを、川底や川原に ⑤( ) させる。

2 川の水による災害を防ぐために、どのようにくふうがされているでしょうか。表にあてはまるものを下の □ から選んで書きましょう。



教科書

116~120 ページ

目的	くふう
(1)水の力を弱くし、川岸がしん食されるのを防ぐ。	
(2)川岸がしん食されるのを防ぐ。	
(3)しん食された石やすなが一度に流されるのを防ぐ。	
(4)大雨のときに川の水をため、下流に流れる水を減らす。	

地下放水路や遊水地    さ防ダム    ブロック    コンクリートのていぼう